



県学校体育功労賞を受賞して

宇土市立住吉中学校 校長 田中 繁蔵

令和2年度学校体育功労賞をいただき、たいへん光栄に思います。

この受賞は、これまでに出会った先輩諸氏からの温かい導きと、同僚の先生方、宇城郡市の体育の先生方からの支えがあったからだと思っております。さらに、これまで出会ってきた多くの生徒たちにも感謝したいと思います。

私が体育教師を目指すきっかけとなったのは、中学3年次の担任の先生の存在です。厳しい先生でしたが愛情いっぱい私たちに注いで頂きました。その先生にあこがれ体育の教師になる夢を持ちました。

教師としてのスタートは、現松橋支援学校でした。その生徒たちとの出会で、これまでの価値観を大きく変えることができました。それまでは競技スポーツ中心の考え方が強くスポーツを一面的に見ていました。出会いをきっかけに生涯スポーツ、誰もが楽しむスポーツを考えることになり、スポーツを多面的に見ることができるようになりました。グラウンドは車いすの生徒や松葉杖の生徒が、転んでもけがをしないように、楽しく遊べるように毎日整備をしました。授業は、すべての生徒が楽しめるように内容の工夫が求められました。教科書も指導書もない状況で同僚の先生方から学び、生徒たちに教えられながらの創意工夫の5年間でした。

教職6年目で中学校に赴任しました。支援学校から大規模校の3年生の授業を受け持つことになりました。初めての中学校での授業に不安と緊張感がありました。先輩の授業を観察しメモにとり、1時間1時間を生徒に負けないように必死に授業したことを思い出します。初めて中体研の理事をしたのもこの頃でした。

故郷孝治先生からは、毎晩のように反省会をしていただきました。「学校体育とは」とか「総則体育」の話を毎晩のように勉強させられました。

その後、「すべての生徒が意欲的になる体育授業」を目指しました。生徒たちには、「目標を持つことの大切さ」について毎時間話をしました。体育が苦手だった女子生徒が体力づくりに意欲的に頑張ったことや、「先生自分たちでやれるから」と自発的に一生懸命体力づくりをしている生徒の姿が忘れられません。生徒たちに力をもらいながら生徒たちと一緒に授業を創ってきたように思います。

宇城郡市中体連の理事長を4年間任されました。その間宇城の体育の先生方の力強いサポートを頂きました。教職生活38年間の中で、この4年間は校務ともに忙しい日々でしたが、一番充実していたように思います。何より『支え、支えられる』という関係性を肌で感じさせていただきました。

最後になりますが、これまで出会った皆様に感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。